



川合玉堂《松上双鶴》1942（昭和17）年 絹本・彩色 山種美術館

第 126 期

2024年4月1日～2024年9月30日

中間株主通信

株式会社ヤマタネ

証券コード：9305



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

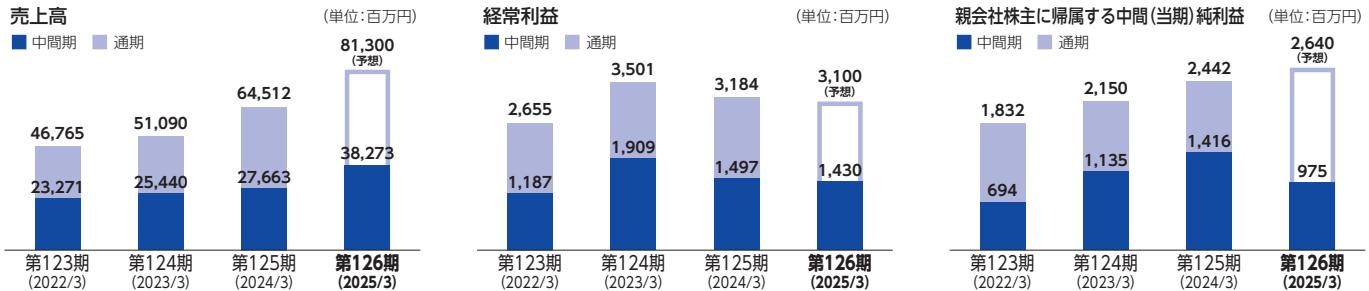
当社は今年の7月3日をもちまして、創業100周年を迎えました。このような節目を迎えることができたのも、株主の皆様からのご支援のおかげでございます。心より感謝申し上げます。次の100年に向けて、より豊かな社会づくりにチャレンジしてまいりますので、今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 第126期（2025年3月期）中間期実績と通期見通しについて

第126期中間期におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は足踏みも見られるものの緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、不安定な国際情勢、欧米における高い金利水準の継続、原材料価格やエネルギー価格の高騰、また物価上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

そのような状況下で当社グループの経営成績は、物流部門では海外引越の取扱いが前期を上回って推移し、食品部門では昨年10月にM&Aで100%連結子会社となった株式会社ショクカイ（以下、「ショクカイ」といいます。）が業績に寄与したことにより、売上高は382億73百万円（前年同期比38.4%増）となりました。営業利益は、ショクカイが業績に寄与したものの、物流部門における外注コストの増加、食品部門のコメ卸売販売における急激な原料玄米価格の上昇、人件費やセキュリティ強化対策コストが増加したことにより加え、のれん償却額の増加等により14億89百万円（同18.7%減）となりました。経常利益は前期に計上したシングルローン手数料がなくなった一方で、支払利息が増加したこと等により14億30百万円（同4.5%減）となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益や事業譲渡益の計上はあったものの、前期に

### 連結業績ハイライト



計上した遊休不動産売却による固定資産売却益がなくなったこと等から9億75百万円（同31.1%減）となりました。

通期連結業績につきましては、足元の業績動向を鑑み、修正することいたしました。食品部門において量販店を中心に精米販売が好調に推移していること等を見込み、売上高は48億円増加の813億円と業績予想を上方修正することいたしました。一方で、営業利益及び経常利益においては、物流部門における一部荷主の解約やIT関連・人的資本等の将来に向けた基盤整備のための各種投資の増加等により、業績予想を下向修正することとし、営業利益は2億70百万円減少の32億30百万円、経常利益は2億10百万円減少の31億円を見込んでおります。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、一部事業の売却を行ったこと等による特別利益の増加が見込まれることから、業績予想を据え置くことといたしました。

## 2 カンパニー制への移行と山種不動産株式会社の吸收合併（簡易合併）について

当社グループは長年にわたり物流関連、食品関連、情報関連、不動産関連の4事業を事業部制での経営体制により事業を開拓してきましたが、昨今の資本市場より求められております資本コストや株価を意識した経営の実現に向け経営体制を強化すべく、「カンパニー制」へ移行いたします。

「カンパニー制」へ移行にあたり、親会社であるヤマタネの事業本部とグループ子会社が一体となった4カンパニーを設置した上で、コーポレート本部（仮称）を新設し、事業ポートフォリオ管理体制の高度化を図り、資本効率を意識した事業を推進いたします。また、各カンパニーへ権限の委譲を進めることで意思決定スピードを向上させ、成長投資の活性化を推進し、収益力の更なる向上を目指すとともに次期経営層の育成も図ってまいります。さらにグループ全体の収益力の強化を推進するためコーポレート本部（仮称）を中心に各カンパニー間のシナジーを創出してまいります。当社グループは、新たな経営体制のもと、より一層の企業価値向上に努めてまいります。

また、山種不動産株式会社は、当社が株式の74.4%を保有する連結子会社であります。同社は高稼働率の賃貸用不動産を

保有し、不動産賃貸業務を中心とした不動産関連事業とグループ全体の不動産管理業務を行つてまいりました。今般、これらの不動産事業を親会社である当社に集約することで効率的な一体運営を行い、更には中長期的なCRE戦略の推進により企業価値の向上を図るため、同社を吸収合併することいたしました。 詳細につきましては、11月14日に開示をしております。

## 3 次期中期経営計画「ヤマタネ2028プラン」について

当社グループは、「多様な人財が集い、社会に貢献する力を生み出す」をパーソス（存在意義）とし、パーソスを確かなものとするため、「ヤマタネ2031ビジョン」を策定し、「物流と食の流通を通じ、より豊かな社会づくりにチャレンジしていく」ことを掲げております。

その第一フェーズである中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」（2023年3月期～2025年3月期）においては、M&A等の成長投資を進め、売上高・営業利益・ROE等の主要な財務目標の達成を見込んでおります。しかしながら、昨今の資本市場より求められております資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、当社グループは、部門別収益管理の高度化、更なる事業シナジーの創出、資本コストを意識した資本収益性の改善、また、ガバナンス体制の強化等に一段取り組んでいく必要があります。

新中期経営計画「ヤマタネ2028プラン」（2026年3月期～2028年3月期）においては、上述の課題認識を踏まえ、更なるパーソス経営の推進と次の100年に向けたヤマタネグループの転換期とすべく、社員一人ひとりの活性化を促しチャレンジ精神溢れる企業文化を醸成し、より一層の企業価値向上に努めてまいります。

なお、「ヤマタネ2028プラン」の最終年度の財務目標は、売上高880億円、営業利益47億円、EBITDA92億円、ROE6.5%としています。

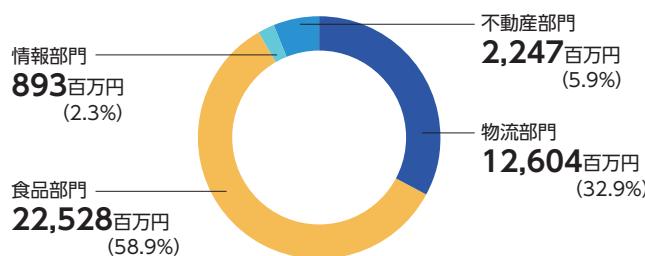
詳細につきましては、11月14日に開示をしております。

2024年12月

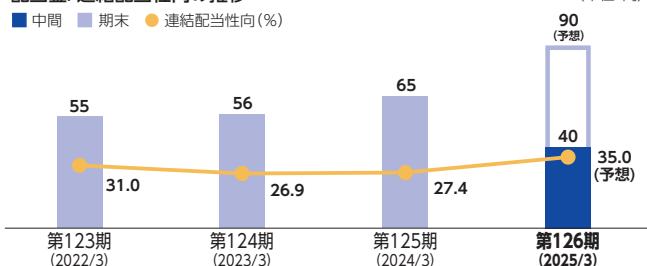
代表取締役社長

河原田 岩夫

セグメント別売上高(第126期中間期)



配当金/連結配当性向の推移



安定配当の基本方針を維持しながら株主への利益還元を強化するため「累進配当」を行うこととしております。

## 物流部門

■ 売上高 **12,604**百万円 ■ 営業利益 **849**百万円

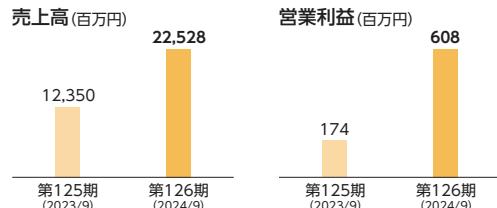
物流部門では、国内業務においては、倉庫事業で5月より既存顧客の新規受託業務を開始しました。また、国際業務においては海外引越を中心として取扱件数が前年同期を上回りました。この結果、売上高は126億4百万円（前年同期比1.9%増）となりました。一方で営業利益は、庸車費用等の外注コストや人件費の増加、また、本年6月に竣工した本牧埠頭新倉庫の不動産取得税等の計上や減価償却費の増加等により、8億49百万円（同29.1%減）となりました。



## 食品部門

■ 売上高 **22,528**百万円 ■ 営業利益 **608**百万円

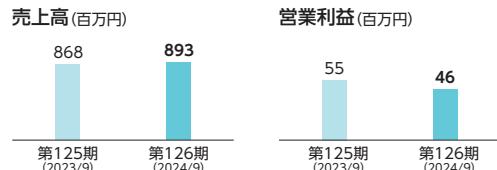
食品部門では、コメ卸売販売において昨年の猛暑の影響でコメの生産量が減少した事に加え、災害に備えた備蓄需要があったことから需給が引き締まりました。その結果、原料調達が計画通りに進まず、精米販売と玄米販売共に前年同期を下回り、精米販売は30千玄米トン（前年同期比18.5%減）、玄米販売は7千玄米トン（同31.7%減）となり、総販売数量は37千玄米トン（同21.4%減）となりました。一方で昨年10月にM&Aで100%連結子会社となった加工食品卸売業のショクカイは事業所給食向けを中心に堅調に推移しました。この結果、売上高は225億28百万円（前年同期比82.4%増）となりました。営業利益は、コメ卸売販売において販売数量減少に加え、原料玄米の急激な価格上昇により顧客への販売価格の転嫁がやや遅れたものの、8月以降の令和6年産の新米販売では顧客への安定供給を行うとともに価格転嫁を進め、また、ショクカイの加工食品販売が概ね堅調に推移し業績に寄与したことから、6億8百万円（同249.0%増）となりました。



## 情報部門

■ 売上高 **893**百万円 ■ 営業利益 **46**百万円

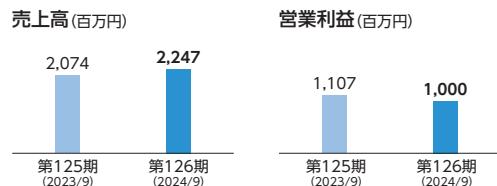
情報部門では、汎用機基盤の開発、運用業務は堅調に推移し、売上高は8億93百万円（前年同期比2.8%増）となりました。一方でセキュリティ強化対策コストの増加により営業利益は46百万円（同16.4%減）となりました。



## 不動産部門

■ 売上高 **2,247**百万円 ■ 営業利益 **1,000**百万円

不動産部門では、高稼働率を維持する中、前期に取得した賃貸物件が寄与し、売上高は22億47百万円（前年同期比8.3%増）となりました。一方で営業利益は、前期に計上した兜町再開発賃貸物件「KABUTO ONE」の不動産取得税の減額分がなくなったことから、10億円（同9.7%減）となりました。



## 本牧埠頭営業所の開設

当社グループは、中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」において、物流部門の収益力向上のため、新倉庫の開設や既存倉庫のリプレイスを行うことを目標として掲げ、本営業所の開設に向け取り組んでまいりました。

本年7月に開設した本営業所は「BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）」の最高ランクである6つ星及び「Zeb Ready」の評価を取得しており、「CASBEE（建築環境総合性能評価システム）」ではA評価を取得しております。庫内すべての照明に人感センサー付きの照明機器を使用するなど、高い省エネ性能を有し、環境負荷の低減に配慮した倉庫オペレーションを実現いたしました。



(1) 所在地	神奈川県横浜市中区本牧ふ頭8-112	(4) 構造	鉄筋コンクリート・鉄骨造 地上4階建
(2) 敷地面積	7,915.50m <sup>2</sup> (2,395.65坪)	(5) 開設年月日	2024年7月1日
(3) 延床面積	19,584.00m <sup>2</sup> (5,924.16坪)		

### 環境に配慮した事業活動の推進



## 農業生産法人 株式会社ブルーシード新潟の設立

当社グループは、長期ビジョン「ヤマタネ2031ビジョン」において「持続可能な営農に向けた産地連携の強化」を目標に掲げています。国内のコメ生産現場においては、人材の確保、気候変動など様々な課題が山積しており、これらを解決するために、生産者が培ってきた豊富な栽培知識・経験に加えて、新たな栽培技術の知見や経営感覚を備えた農業経営の重要性が一層増しております。このような潮流を踏まえ、この度、技術・経験を持つ地域の中核的な生産者とヤマタネグループが共同で農業生産法人を設立いたしました。

設立日	2024年9月6日
名称	株式会社ブルーシード新潟
所在地	新潟県長岡市寺泊夏戸
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 竹内正彦
事業内容	稻作・畑作物・果樹園の経営 農業生産に係る受託、資材製造販売、 共同利用施設の運営、コンサルタント業務
資本金	3,000千円
発行株式数	100株

### 「地域コミュニティ及び生産地と農業の発展」



当社グループは、2024年7月3日に創業100周年を迎えました。2025年7月までを「100周年期間」と位置づけ、記念事業に取り組んでおりますので、ご紹介いたします。

### ● 創業100周年記念式典

7月3日、創業100周年を迎えたことを記念し、地域の皆さんを始めとする多くの方々にこれまでの100年に対する「感謝」と変革への「チャレンジ」をお伝えすることを目的として、越中島公園及び隅田川テラス（江東区越中島）で記念式典を開催いたしました。

取引先様を始め地域の方々や従業員とその家族など、およそ900人が参加しました。同式典では、創業の地で感謝の気持ちをお伝えするとともに、地域の皆さんに楽しんでいただくため、そして次の100年の始まりを告げるために、約2,500発の花火を打ち上げました。

また、地元の文化振興に貢献したいという思いから、江東区の民俗芸能を継承される皆さまをお招きし、「木場の木遣」や「深川の力持」、「獅子舞」などを披露していただいたほか、式典会場の入り口には従業員やその家族が作成した、「竹あかり」オブジェを設置しました。竹の裏面には社員のマイパーカスが手書きされており、当社のパーカス「多様な人財が集い、社会に貢献する力を生み出す」を表現いたしました。

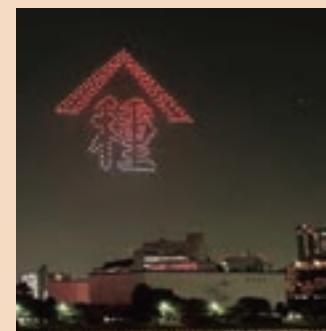
式典の最後には、300台のドローンを使用して当社のロゴやメッセージを夜空に映し出し、式典をご覧いただいた方々に感謝の気持ちをお伝えいたしました。



▲花火の打ち上げ



▲竹あかり



▲ドローン演出

## ● こども食堂『しんメタ俱楽部』の活動

6月3日に深川にオープンしたヤマタネグループの情報発信拠点 おむすび屋『新芽の便り』にて、8月28日と9月25日の2回にわたり、こども食堂『しんメタ俱楽部』の活動を行いました。

100周年を迎えたことへの感謝の気持ちを込めて少しでも地域に貢献したいという思いから開始した『しんメタ俱楽部』は、子どもたちが皆と一緒にごはんを食べる楽しさを実感できる場所を提供するほか、ボランティアで参加した社員が宿題のお手伝いをするなど、地域交流の場としてもご利用いただきました。

本活動を通じて、子どもたちに栄養のある温かい食事や安心して過ごせる「居場所」を提供してまいります。



## ● 武蔵野美術大学と協力し、アートワークショップを開催

10月5日と12日、武蔵野美術大学（東京都小平市、学長：樺山 祐和）と協力し、本社ビル近隣の小学校で小学生を対象としたアートワークショップを開催いたしました。本イベントでは、地域の子どもたちに楽しいひとときを提供しつつ、子どもたちが制作した作品を地域の方々にご覧いただくことで地域を元気にすることを目的に開催いたしました。

本イベントでは、武蔵野美術大学ご出身のアーティストを講師に迎えました。参加した約40名の子どもたちは、地域のまちや川を探検し、その中で見つけたものを題材にして、日本画の画材を使って一つの絵巻を制作しました。

本イベントで制作した絵巻は、今後、ヤマタネグループのイベントなどで展示する予定です。

## 武蔵野美術大学



山種美術館では皆さまの幸せを願い、HAPPY感が満載の展覧会を開催します。

本展では、長寿や子宝、富や繁栄など、人々の願いが込められた美術に焦点をあて、おなじみの松竹梅や七福神をはじめ、現代の私たちにとってもフッキーモティーフといえる作品をご紹介します。また、ユーモラスな表現、幸福感のある情景など、見る者を幸せな気持ちにする力を持つた作品も展示します。

伊藤若冲《鶴図》(個人蔵)には、長寿を象徴する鶴が水墨

展 覧 会 名	【特 別 展】HAPPYな日本美術 —伊藤若冲から横山大觀、川端龍子へ—
会 期	2024年12月14日(土)～2025年2月24日(月・振休)
会 場	山種美術館
開 館 時 間	午前10時～午後5時 (入館は閉館時間の30分前まで)
休 館 日	月曜日 [1/13(月・祝)、2/24(月・振休)は開館、1/14(火)は休館、 12/29(日)～1/2(木)は年末年始休館]
入 館 料	一般1,400円・中学生以下無料(付添者の同伴が必要です) 【冬の学割】大学生・高校生500円 ※本展に限り、通常1,100円のところ割引。 入館時のオンライン予約ができます (詳細は当館Webサイトをご覧ください)。

## ●株主優待

当社は、2024年3月末基準日より、株主優待制度を変更いたしました。詳細は下記をご覧ください。

### 3月末基準 優待内容

株数	株主優待商品
300株以上	ジュース(2本: 1,100円相当)または棚田米を原料とした日本酒(一合瓶2本)の選択制
500株以上	ジュース(2本: 1,400円相当)または棚田米を原料とした日本酒(四合瓶1本)の選択制
1,000株以上	ジュース(3本: 1,850円相当)または棚田米を原料とした日本酒(四合瓶2本)の選択制

## ●株主メモ

事 業 年 度 每年4月1日から翌年3月31日まで  
定 時 株 主 総 会 毎年6月開催

基 準 日 定時株主総会 每年3月31日  
期 末 配 当 金 每年3月31日  
中 間 配 当 金 每年9月30日  
そのほか必要があるときは、  
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人及び  
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

### 9月末基準 優待内容

株数	株主優待商品
100株以上	山種美術館カレンダー
300株以上	山種美術館カレンダー、厳選ごだわり米2kg
500株以上	山種美術館カレンダー、厳選ごだわり米5kg
1,000株以上	山種美術館カレンダー、棚田米10kg、田植え・稻刈り体験(※申込制)

※申し込み多数の場合には抽選とさせていただく場合がございます。

### 株式に関する住所変更等のお手続き及びご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

(インターネット ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

単 元 株 式 数 100株  
公 告 の 方 法 当社のホームページに掲載する。  
<https://www.yamatane.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。

上場証券取引所 東京証券取引所

### 特別口座について

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

で表されています。また、川端龍子は子孫繁栄を象徴する画題で、子どもたちが象と戯れる平和な情景を《百子図》(大田区立龍子記念館)に描きました。さらに、猪を抱えてうれしそうな表情の《埴輪(猪を抱える獣師)》(個人蔵)は、見る者を楽しい気持ちにさせてくれます。2025年の干支にちなみ、蛇を描いた作品もご堪能ください。

幅広い時代やテーマのHAPPYな日本美術を通して、心温まるひとときをお過ごしいただければ幸いです。